

帯畜大地域共同研究センター

過去最高の47件

05年度「存在周知された」 受託研究

帯畜産産大学地域共同

研究センター(関川三男

センター長)の2005

年度の各種実績がこのほ

どまとまと。行政など

からの受託研究は47件

(4億9710万円)で

過去最高を記録、共同研

究も67件(3989万5

千円)と、前年度実績を

上回った。関川センター

長は「設立から10年、セ

ンターの存在が広く周知

されてきた表れでは」と

している。

同センターは1996

年、農学系としては全国

で初めて開設された。受

託研究は98年度8件、99

年度14件と推移し、20

00年度からは20件台に

増加。さらに04年度は30

件に到達した。05年度は

前年度比17件増で大幅に

上回った。

05年度の主要な研究で

は、文部科学省の「都市

エリア産学官連携促進事

業」委託で、機能性を重

視した十勝産農畜産物の

高付加価値化に関する技

術開発(研究代表者・大

西正男教授)が3690

万円、同省の「科学技術

振興調整費」委託で、優

良畜種の育成に関する

生殖学的研究(同・鈴

木宏志教授)が1億57

00万円など。

共同研究は98年度19件

からの年度107件へと大きく伸びたが、04年度は58件にとどまっていた。05年度は農薬を使わずゴルフ場の芝生を管理する帯広緑化振興公社と同センターとの共同研究など67件で、3年ぶりに前年実績を上回った。(佐藤いつみ)